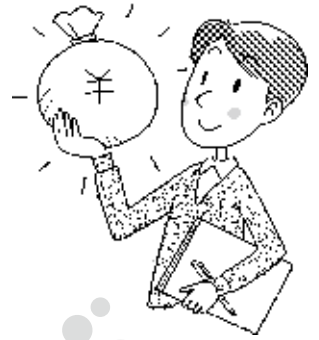


特別な収支のプランニングとチェックの仕方

※ボーナスや期末手当などは、毎月の収支とは区別して管理しますが、プランの立て方やチェックの仕方は「今月の家計プラン」「毎日の支出メモ」と同じです



特別な収入だから特別に管理しましょう。

この例では、夏のボーナスから冬のボーナス支給日までを1つの会計期間としています。冬のボーナス収入を2年にまたがって使うような場合は、年の初めに冬のボーナスの残高を「自由になるお金」の欄に書き入れてスタートしましょう

特別な収支のプランと支出メモ

(6 / 25 から 12 / 10 まで)

* 今期の家計収入 *

内容	予定額	月日	実際額	
収入	ボーナス 夏	570,000	6/25	637,500
	計 ①	570,000		637,500
	税金			
税社会保険料	夫ボーナス分 (源泉徴収)	50,000		63,700
	計 ②	50,000		63,700
	使えるお金 ③=①-②	520,000		573,800

* ボーナス天引きで出たお金 *

内容	予定額	月日	実際額	
貯蓄	住宅財形	200,000	6/25	200,000
	ローン			
その他				
計 ④	200,000		200,000	

* 決まって出たお金 *

内容	予定額	月日	実際額	内容	予定額	月日	実際額		
口座自動引落し	マイカーローン	100,000	7/3	100,000	現金支出	こづかい (春男)	30,000	7/1	30,000
						こづかい (夏子)	20,000	7/1	20,000
					教育保険	50,000	7/15	50,000	
				貯蓄 ()					
計 ⑤	100,000		100,000	計 ⑥	100,000		100,000		
				合計 ⑦=⑤+⑥	200,000		200,000		

今期自由になるお金を計算しましょう

(自由になるお金は ⑧ = ③ - ④ - ⑦)

修正後
173,800 ~~120,000~~ 円

このお金をどのように使うか
予算を立てましょう

この金額⑧を右ページの★の欄に書きましょう
予算残高を見ながら
安心してお金が使えます

ボーナスの支給額が予定と違った場合は、予算を修正しましょう。このケースでは、当初の見込みより手取り額が5万3800円多かったため、自由に使えるお金が増えました

毎日の支出ページとほぼ同様の記入ページが用意されています(費目が「食費」「その他」ではなく、「レジャー費」「その他」となっています。費目は自由に変えて構いません)

* 今期自由になる特別なお金 *

内容	予定額	実際額	内容	予定額	実際額	購入日	引落し予定日	引落し日		
現金支出	旅行	60,000	63,800	クレジット支出	お中元	20,000	6/27	8/7	8/7	
	父・還暦祝	30,000	30,000		洋服(夏子)	10,000	33,000	6/27	8/7	8/7
	旅行土産	≠	5,000							
	レジャー積立	≠	20,000							
		8,800								
計 ⑧	90,000	118,800	計 ⑨	30,000	51,000					
	118,800		合計 ⑩=⑧+⑨	120,000	169,800					

クレジットを利用する回数が多い場合は利用のつど「自由に使った特別な支出メモ」(7ページ)と「クレジットの支払いチェック」(28~29ページ)に利用明細を書き入れ、代金の引落し状況をチェックしましょう

6

「毎月の家計プラン」(書き方例40~41ページ)と同じ手順で予算を立てましょう

修正後の予算です

7ページの「自由に使った特別な支出メモ」を利用すれば、この欄の実際額を出すことができます